



八小だより

在籍児童 181名(令和 8年 3月 3日現在)

八王子市立第八小学校

教育目標<目指す児童像> かしく ゆたかに たくましく みんなと生きる子

～子どもたちの未来を拓く学校～

令和7年度 学校評価アンケート(保護者)集計結果

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、今年度2回実施した学校評価アンケート(保護者)の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

前期：在籍数184 回収率 58%

後期：在籍数181 回収率 48%

肯定的意見 (評価90%以上○ 70%未満▲) 前後期比 【上  【下  】				
	質問内容	前期	後期	
1	学校の教育方針【子どもの未来を拓く学校―根を張り、枝を伸ばし、花を咲かせる―】を知っている。	86%	○90%	
2	学校が力を入れて行っている取組【基礎的・基本的な学力の定着・あいさつ】について知っている。	○93%	○96%	
3	本校が第一中学校と一緒にいる取組【クリーン活動・オータムフェスティバル・夏季休業中の勉強の手伝い・はちおうじっ子サミット】について知っている。	81%	89%	
4	学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	○94%	○95%	
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	86%	○93%	
6	学校は、いじめ対応の時間を設定し、いじめの未然防止への取組やいじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	88%	87%	
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	89%	○91%	
8	学校は授業において、説明、板書、発問、ICT機器の活用などの工夫に取り組んでいる。	88%	88%	
9	学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	81%	86%	
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	○90%	89%	
11	学校は、様々な職業の人をゲストティーチャーとして招いたり、「キャリアパスポート」を活用したりして、将来の生き方に見通しをもたせている。	▲67%	72%	
12	学校は学習環境の整備(や清掃活動)に取り組んでいる。	87%	○94%	
13	学校は、日常的な運動や食育に取り組み、子どもたちの体力を向上させる指導を行っている。	89%	○90%	
14	学校は保護者に対して適切に情報を提供している。【学校だより・学年だより・ホームページなど】	○90%	87%	
15	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。	82%	76%	

前期と後期を比較しての考察

	質問内容	前期と比較して
1	教育方針理解	「子どもの未来を拓く学校-根を張り、枝を伸ばし、花を咲かせる-」は、段階を踏んで子どもが成長していく姿を表しています。保護者の皆様が来校された際にもご覧いただけるよう、掲示物を校舎内に掲示しています。今後も、学校だよりに教育方針に触れた文書を掲載する、保護者会でお伝えするなど、さらに多くの皆様にご理解いただける努力を続けていきます。
2	重点目標理解	後期に3ポイント上がり、前後期ともに9割以上の肯定的な評価をいただきました。基礎的基本的な学力の定着とあいさつが昨年度に引き続き、本校の今年度の重点目標でした。あいさつ運動の取組も定着し、第一中学校の生徒ともあいさつ当番を一緒に行っています。学力の向上には、次年度も継続して取り組み、基礎基本の定着を図っていきます。
3	小中一貫教育理解	前期に比べて肯定的な評価が8%増えました。今年度はウィンターフェスティバルの実施やあいさつ運動の一中学生徒会との取組、6年生の中学校授業体験等で、中学との連携をご理解いただきました。次年度も、引き続き取り組んでいきます。
4	安全管理	9割の方から肯定的評価をいただきました。子どもたちは、避難訓練とおして、非常時の避難方法や対処法について学んでいます。今後も、自分の身を守るための知識が身に付くよう、繰り返し指導していきます。
5	自他の大切さ	前期に比べて肯定的な評価が7%向上しました。第八小学校では、道徳科の授業やたてわり活動など様々な場面で、人と関わる際にどうしたらお互いが気持ちよく過ごせるのか考えて行動することを、学習と同様に重視しています。今後も気持ちよく人と関わる時に必要なことを子どもたちと考えながら指導を続けていきます。
6	いじめ対策	前期に比べて、肯定的な評価が1%下がりましたが、8割以上の方から肯定的な評価をいただきました。木曜日の放課後(令和8年度は金曜日に変更)には、アンケート項目で気になった児童への聞き取りを行い、いじめの早期発見・解決を目指しています。これからも保護者の皆様と連携して、未然防止に努めていきます。
7	授業や学校行事への児童の取組	前期と比べて肯定的な評価が2%増えました。今後も、子どもたちが学ぶ楽しさを感じ、基礎基本の定着を図れるよう、日々の授業の充実を努めていきます。学校行事への取組も、児童の自主性を大切にして進めていきます。
8	ICT	前期と同じ数値でしたが、8割を超える評価をいただきました。タブレットPCの活用や視覚資料の効果的な活用を引き続き進めていきます。
9	学習内容評価	前期に比べ5%上昇しました。あゆみを作成する際には、評価の観点を事前に確認し、複数の教員で客観的な評価をすることに今後も努めていきます。
10	生活指導	1%下がりましたが、肯定的評価が9割あり、高く評価していただきました。昨年度、「八小学びのスタンダード」を見直し、学習や生活におけるきまりを統一して指導に当たってきました。今後も指導を重ねる中で、きまりを守ることで気持ちよく生活するよさを実感できるようにしていきます。
11	進路職業教育 【キャリア教育】	肯定的な評価が5%も上昇しました。たてわり班での異学年交流、ゲストティーチャーを招いての授業、校外学習での様々な人との関わりを今年度も充実させて取り組んできました。多くの人との関わりをとおして、子どもたちは将来像を形作っていきます。今後も人と関わる中で様々な体験活動を行い、キャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成に努めていきます。
12	環境整備	前期に比べて7%上昇しました。今後も日々の清掃活動に加え用務主事による校内・校庭の清掃を、引き続き行っています。

13	体力の向上	前期に比べて1%上昇しました。なわとび週間や RunRun タイムなどを通して、日常的に運動に親しむ姿が増えています。また、残さを減らす取組を学校全体で行っています。今後も引き続き取り組んでいきます。
14	保護者に情報提供	3%下がりましたが、後期も87%と高い評価でした。本年度より学年だよりを学校便りと統一しました。紙面だけでなくメールやホームページで学校の様子を配信すること、急な連絡事項に学校メールを活用し、即時対応していくことなどを今後も引き続き行っていきます。
15	特別支援教育	前期に比べて6%下がりました。今後も保護者・特別支援教室担任・学級担任がこまめに情報を共有し、学校内で共通理解を図って、子どもに必要な支援をともに考え、指導に当たります。

令和7年度 保護者自由意見について

主な自由意見 ○・肯定的な意見 ▲改善を望まれる意見と改善策

○	先生の授業がすごく分かりやすいです。補助の先生も来て下さり有難いです。
○	いつもありがとうございます。
○	いつも丸つけなどしてくれて、ありがとうございます。(子どもより)
○	いつもありがとうございます。息子が楽しく学校に通えているので、安心しています。
○	いつも、丁寧な対応していただき、ありがたいです。先生と、連絡を密に取れる事で、本人、家庭でも安心につながります。
○	卒業対策委員会及び保護者会で上がった意見や要望について、いつも前向きに検討していただき、協力していただいていることに深く感謝申し上げます。

(改善策)

▲	校舎の老朽化、階段の壁や廊下の壁などについて、綺麗に整備し生徒や先生方が明るく、気持ちよく過ごせる空間にしてほしい。	→	ご指摘のとおり、校舎の老朽化と共に校舎の壁などの痛みや汚れが散見されます。日頃から大切に扱い過ごすことを心掛けながら、必要に応じて修繕を行っているところです。環境の整備は、何らかの手だてを考慮する必要があります。具体的な対応については、学校運営協議会にも相談させていただきながら考えていきます。
▲	校舎が古いので、地震が心配です。	→	第八小学校では、耐震工事をすでに実施しました。職員室の前などに入っている斜めの柱は、その際に設置されたものです。したがって、構造上の安全は前提にあります。ただ、校舎自体の耐久年数等も関連してくるので、教育委員会とも相談の上、今後も必要な対策を講じていきます。
▲	行事の中で、意欲があるのに機会が得られず、前向きな活動ができずにいる子の思いを考慮してもらいたい。	→	学校生活全般で捉えたとき、学習、運動、遊び、当番や係、たてわり班の活動など、子どもたちの活躍の場はたくさんあります。また、子どもたち一人ひとりには得手、不得手があり、それぞれが得意な分野で活躍しています。一方、行事で役割を決める際に、多くは立候補や推薦をしたり、オーディションをしたりして決めています。偏りがないように配慮していますが、まずは、挑戦しようとする子どもたちの姿を後押ししていただければ幸いです。
▲	靴箱のところに上履きが散らかっていることがある。靴箱は、学校の顔だと思うので、そういうところはきちんと指導すべきだと感じる。	→	いただいたご意見のとおりです。靴箱や傘立て、トイレの使い方や整理の仕方などは、子どもの生活態度とも結びつく部分であり、気を付けて見るよう日頃から教職員で確認している点でもあります。私たちにできることは、粘り強い指導であることを今一度自覚して、繰り返し子どもたちに働きかけることで改善を図っていきます。
▲	配布される資料の日程に間違いがあり、その訂正がアプリでの連絡のみのことがあり、大事な行事に参加できなかった。日時は配布前に再確認してほしい。	→	資料の訂正、大変申し訳ございませんでした。文章の確認は、文章作成者だけでなく、起案を通して主任や主幹、管理職と複数の人間でチェックして、訂正がなく正しい情報をお届けできるよう努めてまいります。なお、紙面によるお知らせは、少しずつ減らしていく方向であるため、Home&Schoolへの登録を、皆様をお願いいたします。

令和7年度 学校評価アンケート(高学年児童)集計結果

設問1～10 高学年児童が回答

前期:在籍数 63人

後期:在籍数 61人

設問11～13 全学年児童が回答

前期:在籍数 184人

後期:在籍数 181人

肯定的意見(評価90%以上○ 70%未満▲) 前後期比 【上 ↑】 【下 ↓】				
	質問内容	前期	後期	
1	学校目標を知っている。	83%	75%	↓
2	学校が力を入れて行っている取り組みを知っている。	82%	▲57%	↓
3	学校が第一中学校と一緒にいる取り組みを知っている。	▲61%	▲60%	↓
4	安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	83%	80%	↓
5	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるように、先生たちは指導していますか。	▲61%	▲57%	↓
6	先生たちは、いじめを起こさせない取組を行ったり、発生した場合には直ちに対応をしたりするなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	▲61%	▲55%	↓
7	学校は落ち着いて学習できる雰囲気である。	▲48%	▲37%	↓
8	先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。	83%	74%	↓
9	先生たちは、児童・生徒がよりよい生活を送れるように、学校の生活指導の目標やきまりを守るよう指導している。	83%	74%	↓
10	先生たちは、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」などを使って、児童・生徒の生き方や将来についての指導をしている。	78%	▲69%	↓
11	先生たちは、学習環境の整備に取り組んでいる。	82%	▲61%	↓
12	自分は、すすんで挨拶をしている。	80%	77%	↓
13	休み時間は、外に出て遊んでいる。	▲61%	70%	↑
14	私は、自分のことが好きである。	▲65%	▲67%	↑

児童アンケートでは、ほとんどの項目で前期のアンケートを下回る結果となりました。特に「学校が力を入れている取組」や「学習の雰囲気」、「自他の大切さを伝える指導」、「いじめを許さない学校づくり」については60%を下回りました。10までの項目は、高学年児童による回答で、その結果が軒並み下がったことが気になりました。「学校が力を取り入れている取組」については、これまで全校朝会や朝の会等で伝えてきましたが、今後は、子どもたちが捉えやすいような工夫をしていきます。また、「学習の雰囲気」や「自他の大切さを伝える指導」、「いじめを許さない学校づくり」などでは、複数の教員で子どもたちに寄り添いながら、互いを大切に、きまりに従って行動する態度を育てるなどの手だてを講じる中で改善を目指していきます。評価の低い項目の中でも、「自分のことが好き」という質問への回答率が、後期は2%上昇しました。今後も道德の学習や日々の活動、行事での振り返りを行う中で、自分の良いところを見付け、伸ばしていけるよう努めていきます。また、「休み時間は、外に出て遊んでいる」は、肯定的な評価が9%も上昇しました。RunRun タイムや縄跳び週間を通して学校全体で取り組んだ成果が表れたものと考えています。次年度も、教職員一同、教育活動の更なる向上に向けた努力を重ねていきます。共に子どもを育てるパートナーとして、保護者・地域の皆様のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

